

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	種ヶ嶋 尚志		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1304	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 〔DP4-F〕探究力・課題解決力 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 〔DP3-G〕状況把握力・判断力 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 〔DP4-I〕理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 〔DP5-J〕創造的挑戦力・達成力 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 〔DP8-M〕省察力 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1探究と論拠-20% G1状況把握-40% I1理解・分析と読解-20% J1継続的学修基盤-10% M1統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	担当教員は実践心理の専門家として臨床心理士・公認心理師の資格を有し、日本オリンピック委員会医・科学スタッフ（スポーツカウンセラー）、心療内科心理カウンセラー、児童相談所心理判定員、スクールカウンセラー等を経験してきました。担当科目では在職中の経験等の話も交えながら、心理学的理論・立場を日常生活（キャリア形成含）や健康・スポーツの現場で実践できるよう、これまでの知見と経験を活かした講義を行います。（第1回、第2回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催する。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていて行きます。授業形態は演習形式にて行います。 ■キーワード 研究・省察 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		

授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行いそれを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表することができることを目的とする。 ■授業のポイント 研究計画の実行に伴い、心理学やスポーツ科学に関する研究方法の汎用性や限界について実践を通して学びます。	
総合到達目標	■「探究力・課題解決力」「状況把握力・判断力」「理解力・分析力」「創造的挑戦力・達成力」「省察力」を修得するために、これまでのゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行いそれを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を省察し、その成果を発表形式にまとめる能力を修得する。 ・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを討議することができる。（第1回～第7回、第14回、第15回）「知識・態度」 ・自身の関心のある心理学的領域の研究についてその研究計画を立案、作成、実行、結果の省察までの過程を説明することができる。（第8回～第13回）「知識・技能」	
成績評価方法	■レポート7回（50%）適用ルーブリックF 1、I 1、M 1 （評価の観点）授業内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せることや、課題が正確に取り組まれているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■授業参加度（発言等）15回（30%）適用ルーブリックG 1、J 1、M 1 （評価の観点）発言、質問、意見交換等、授業構築への参加度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■実技・パフォーマンス（プレゼンテーション等）1回（20%）適用ルーブリックF 1、G 1、M 1 （評価の観点）自身の研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各パフォーマンス後に講評を行います。	
履修条件	ゼミナールⅠ[SSCS4605]を履修していることが条件です。	
履修上の注意点	ゼミナールは演習授業です。自分の意見を発信出来ることが求められます。意見が出てこない時や不十分な時は、物事を調べたり、学界や世間や仲間の意見を聞いたりしながら、自分の考えをまとめるなどして、積極的に議論に参加しましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 研究テーマに関する指導と討議 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅠの学修内容と興味関心領域を発展させ、卒業論文、卒業研究に繋がりうる研究テーマを討議した上で設定し、説明することが出来る。（F 1、I 1、J 1） ③予習（120分）ゼミナールⅠで学んだ内容を振り返り、情報を整理しておく。 ④復習（120分）設定された研究テーマに関する計画を立案し、その妥当性を検討しておく。
	2	①授業テーマ 文献の輪読・討議 1 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、スポーツ科学や心理学の知見をさらに充実したものとするために、研究テーマの関連領域に関する先行研究の文献を輪読し、明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。（F 1、I 1、J 1） ③予習（120分）興味関心に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分）輪読した文献内容について振り返り、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	3	①授業テーマ 文献の輪読・討議 2 ②授業概要 ゼミナールⅠを踏まえ、スポーツ科学や心理学の知見をさらに充実したものとするために、研究テーマの関連領域に関する先行研究の文献を輪読し、明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。（F 1、I 1、J 1） ③予習（120分）興味関心に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分）輪読した文献内容について振り返り、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	4	①授業テーマ 文献の輪読・討議 3 ②授業概要 ゼミナールⅠを踏まえ、スポーツ科学や心理学の知見をさらに充実したものとするために、研究テーマの関連領域に関する先行研究の文献を輪読し、明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。（F 1、

	I 1、J 1) ③予習 (120分) 興味関心に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 輪読した文献内容について振り返り、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
5	①授業テーマ 文献の輪読・討議 4 ②授業概要 ゼミナール I を踏まえ、スポーツ科学や心理学の知見をさらに充実したものとするために、研究テーマの関連領域に関する先行研究の文献を輪読し、明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F 1、I 1、J 1) ③予習 (120分) 興味関心に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 輪読した文献内容について振り返り、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
6	①授業テーマ 心理学研究に関わる実践領域の討議 1 ②授業概要 ゼミナール I を踏まえ、スポーツ科学や心理学の実践領域の知見をさらに充実したものとするために、担当教員の実務経験等を踏まえた説明を行う。これらの実践領域について調査し、調査にもとづき議論およびその情報を整理し、説明することができる。(G 1、J 1、M 1) ③予習 (120分) 興味関心に即した心理学の実践領域について情報収集し、整理しておく。 ④復習 (120分) 調査した内容について振り返り、さらに必要なことについて文献等を収集し情報を整理しておく。
7	①授業テーマ 心理学研究に関わる実践領域の討議 2 ②授業概要 ゼミナール I を踏まえ、スポーツ科学や心理学の実践領域の知見をさらに充実したものとするために、担当教員の実務経験等を踏まえた説明を行う。これらの実践領域について調査し、調査にもとづき議論およびその情報を整理し、説明することができる。(G 1、J 1、M 1) ③予習 (120分) 興味関心に即した心理学の実践領域について情報収集し、整理しておく。 ④復習 (120分) 調査した内容について振り返り、さらに必要なことについて文献等を収集し情報を整理しておく。
8	①授業テーマ 先行研究の分析・発表準備 1 ②授業概要 研究テーマにもとづく先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについての情報を収集、整理、分析を行い、発表の準備を行う。(G 1、I 1、J 1) ③予習 (120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 自身の研究計画の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な情報を収集、整理、分析し、整理しておく。
9	①授業テーマ 先行研究の分析・発表準備 2 ②授業概要 研究テーマにもとづく先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについての情報を収集、整理、分析を行い、発表の準備を行う。(G 1、I 1、J 1) ③予習 (120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 自身の研究計画の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な情報を収集、整理、分析し、整理しておく。
10	①授業テーマ 先行研究の分析・発表準備 3 ②授業概要 研究テーマにもとづく先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについての情報を収集、整理、分析を行い、発表の準備を行う。(G 1、I 1、J 1) ③予習 (120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 自身の研究計画の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な情報を収集、整理、分析し、整理しておく。
11	①授業テーマ 研究テーマに関する成果発表・討議 1 ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。(F 1、G 1、I 1、J 1、M 1) ③予習 (120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。

	④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
12	①授業テーマ 研究テーマに関する成果発表・討議 2 ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。（F 1、G 1、I 1、J 1、M 1） ③予習（120分） 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
13	①授業テーマ 研究テーマに関する成果発表・討議 3 ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。（F 1、G 1、I 1、J 1、M 1） ③予習（120分） 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
14	①授業テーマ 研究計画の立案（卒業研究、卒業論文に向けて） ②授業概要 研究成果を踏まえ、卒業研究、卒業論文作成に当たっての課題と見出し、研究計画を立案することできる。（F 1、G 1、I 1、J 1、M 1） ③予習（120分） 研究成果を振り返り、研究計画の全体像を整理しておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
15	総括と今後の課題 ①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を整理し、振り返ることができる。（F 1、G 1、I 1、J 1、M 1） ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） 卒業研究、卒業論文に向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習[SSCS2317]スポーツ心理学の基礎[SSCS2313]メンタルマネジメント[SSCS2320]メンタルマネジメント演習[SSCS3610]ゼミナールⅠ[SSCS4605]
教科書	特に使用しません。
参考書・参考URL	【NII学術情報ナビゲータ】 https://ci.nii.ac.jp/ 【Google scholar】 https://scholar.google.co.jp/ 【J-STAGE】 https://www.jstage.jst.go.jp/ 【PubMed】 https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/ 【ScienceDirect】 https://www.sciencedirect.com/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 金曜3限。それ以外の時間については事前のアポイントメントによって対応します。
研究比率	

